

損益状況<連結>

(単位: 億円)

	25年9月期		24年9月期
		前中間期比	
経常収益	952	△104	1,057
連結粗利益	760	△104	865
資金利益	614	△10	624
役員取引等利益	112	△5	117
特定取引利益	2	+1	1
その他業務利益	31	△89	121
営業経費	534	△5	539
不良債権処理額	4	△108	113
株式等関係損益	0	+131	△130
経常利益	235	+146	89
中間純利益	123	+61	61
自己資本比率	12.04%	+0.14%	11.90%

25年9月期の連結業績につきましては、経常収益は前中間期比104億円減少の952億円となりました。

貸出金利の低下により資金利益が減少したこと、国債等債券損益の減少を主因として、その他業務利益が減少したことにより、連結粗利益は前中間期比104億円減少の760億円となりました。

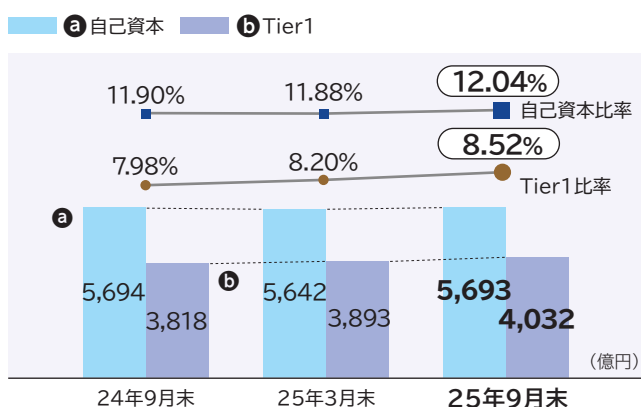
不良債権処理額が減少したこと、株式等関係損益が改善したことにより、経常利益は前中間期比146億円増加の235億円となり、中間純利益は同61億円増加の123億円となりました。

自己資本比率は、利益の積み上げとリスクアセットの減少により、前中間期末比0.14ポイント上昇の12.04%となりました。

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただき、期末一括配当1株当たり3円75銭を予定しております。なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

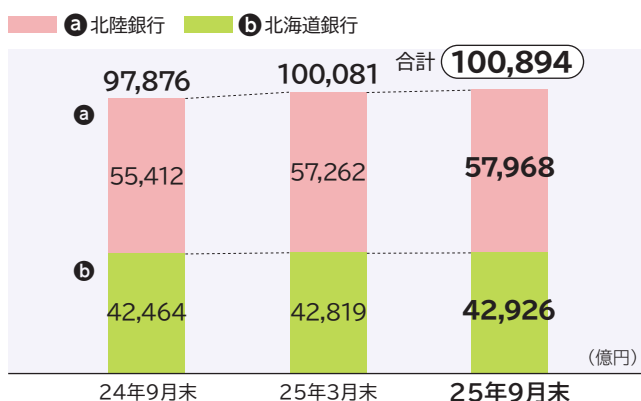
自己資本比率<連結>

財務の健全性を示す自己資本比率は、利益の積み上げとリスクアセットの減少により、25年3月末比0.16ポイント上昇の12.04%となりました。



預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

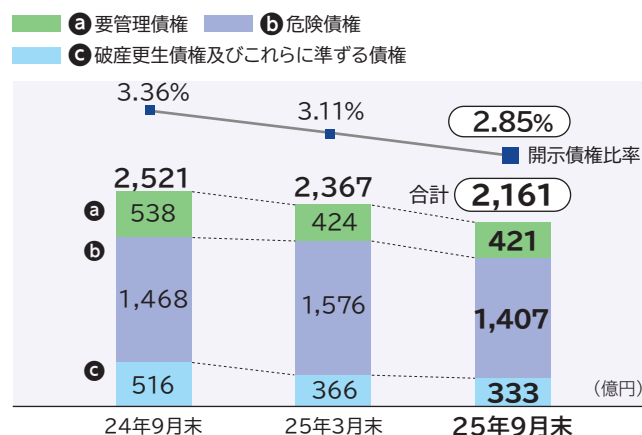
預金は個人、法人のお客さまともに増加したことにより、25年3月末比812億円増加の10兆894億円となりました。



金融再生法開示債権<2行合算>

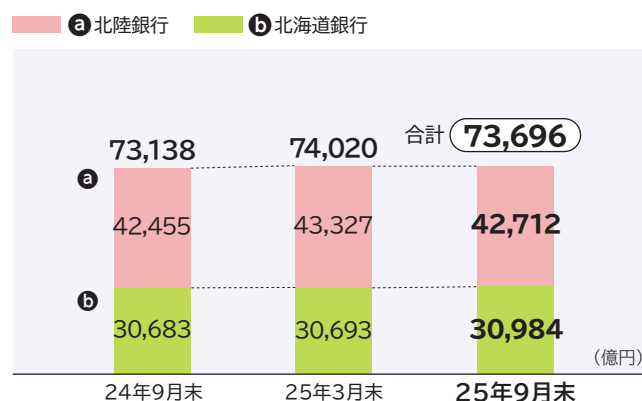
金融再生法開示債権は、経営改善支援の取り組みによるランクアップ等により25年3月末比205億円減少の2,161億円となりました。

開示債権比率は同0.26ポイント低下の2.85%となりました。



貸出金<2行合算>

貸出金は、住宅系ローンや地方公共団体向け貸出が増加しましたが、事業性貸出が減少したため、25年3月末比324億円減少の7兆3,696億円となりました。



損益状況

(単位：億円)

	25年9月期		24年9月期
		前中間期比	
経常収益	485	△76	562
コア業務粗利益	389	△34	424
資金利益	336	△20	356
役員取引等利益	45	△11	56
特定取引利益	1	+0	1
その他業務利益	6	△4	10
経費	258	△0	259
コア業務純益	130	△33	164
業務純益※	139	△83	222
与信費用	△9	△104	95
株式等損益	△1	+93	△94
経常利益	139	+115	23
中間純利益	72	+53	19
自己資本比率	11.95%	+0.06%	11.89%

※一般貸倒引当金繰入前

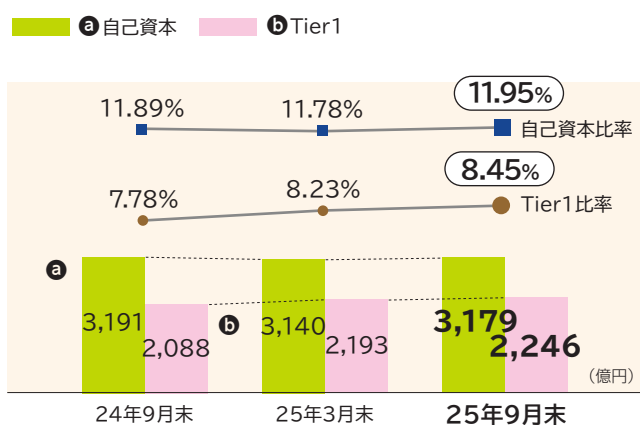
連結経常収益	486	△74	561
連結経常利益	139	+117	21
連結中間純利益	72	+55	17

コア業務純益は、資金利益および役員取引等利益の減少を主に、前中間期比33億円減少の130億円となりました。

経常利益は、与信費用が大幅に減少したこと、株式等損益が改善したことにより、前中間期比115億円増加の139億円となり、中間純利益は同53億円増加の72億円となりました。

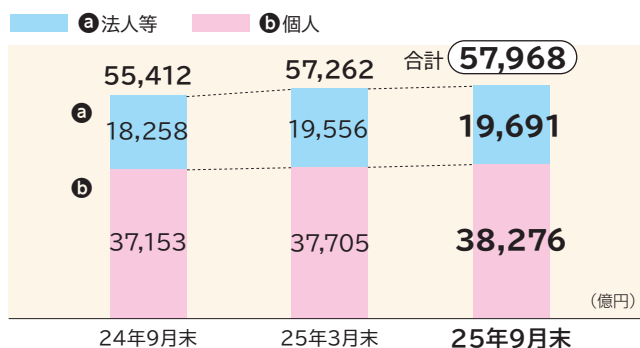
自己資本比率

自己資本比率は、着実な利益の積み上げにより、25年3月末比0.17ポイント上昇の11.95%となりました。



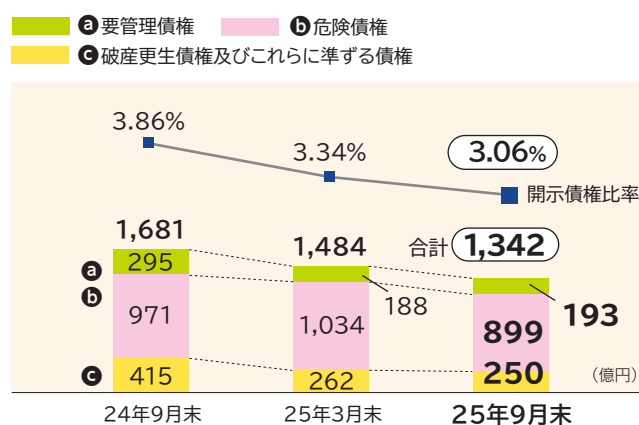
預金（含む譲渡性預金）

預金は個人預金、法人預金ともに順調に増加し、25年3月末比705億円増加の5兆7,968億円となりました。



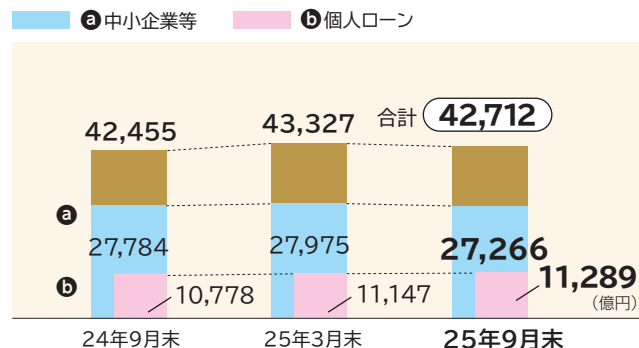
金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、25年3月末比142億円減少の1,342億円となりました。開示債権比率は、25年3月末比0.28ポイント低下の3.06%となりました。



貸出金

貸出金は、地方公共団体向け貸出および住宅系ローンが増加しましたが、資金需要の伸び悩みから中小企業向け貸出が減少したため、25年3月末比615億円減少の4兆2,712億円となりました。



損益状況

(単位：億円)

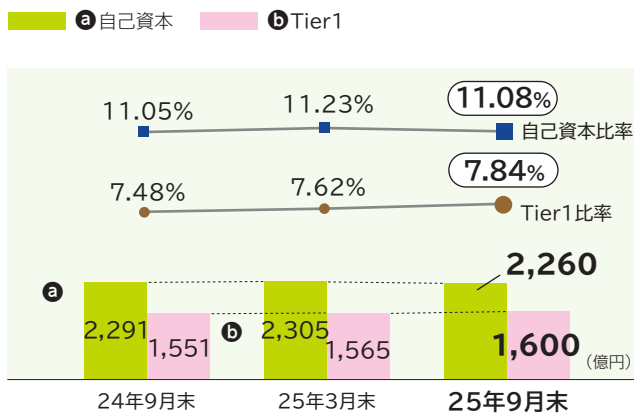
	25年9月期	前中間期比	24年9月期
経常収益	402	△20	423
コア業務粗利益	326	+15	310
資金利益	278	+8	269
役員取引等利益	42	+7	35
その他業務利益	4	△0	5
経費	219	△5	225
コア業務純益	106	+21	85
業務純益*	106	△13	120
与信費用	9	+0	8
株式等損益	3	+37	△34
経常利益	94	+23	71
中間純利益	54	+3	50
自己資本比率	11.08%	+0.03%	11.05%

※ 一般貸倒引当金繰入前

連結経常収益	413	△21	434
連結経常利益	98	+25	72
連結中間純利益	54	+4	50

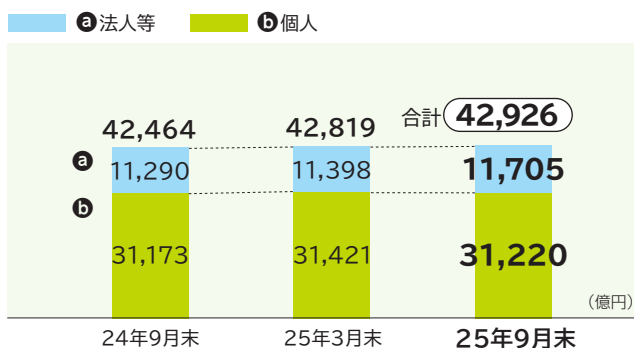
自己資本比率

自己資本比率は、リスクアセットが減少したものの、劣後ローンの返済により自己資本が減少したため、25年3月末比0.15ポイント低下の11.08%となりました。



預金(含む譲渡性預金)

預金は法人預金の増加を主因に、25年3月末比107億円増加の4兆2,926億円となりました。



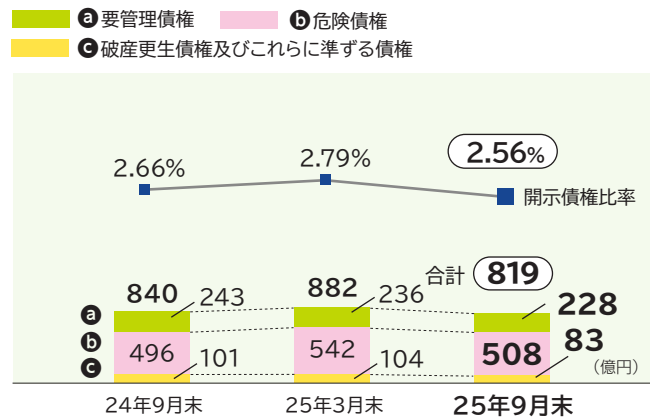
コア業務純益は、資金利益および役員取引等利益が増加したこと、物件費の圧縮により経費が減少したことを要因に、前中間期比21億円増加の106億円となりました。

経常利益は、株式等損益が改善したことにより、前中間期比23億円増加の94億円となり、中間純利益は同3億円増加の54億円となりました。

連結経常収益は前中間期比21億円減少の413億円、連結経常利益は同25億円増加の98億円、連結中間純利益は同4億円増加の54億円となりました。

金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、25年3月末比63億円減少の819億円となりました。開示債権比率は、25年3月末比0.23ポイント低下の2.56%となりました。



貸出金

貸出金は、資金需要の伸び悩みから中小企業向け貸出が減少しましたが、地方公共団体向け貸出が増加したため、25年3月末比290億円増加の3兆984億円となりました。

